

ささやま

2

2014年 第93号

contents

- p2 ふれあいクリスマス会／短期里親事業
- p3 「助けて!」が言える、お互いさまの地域づくりをめざして
- p4 気づかず虐待しているかも・・・
- p5 赤い羽根共同募金運動報告
- p6 歳末たすけあい運動報告
- p7 Vボラナビ／ファミリーサポートセンター
- p8 情報ボックス



歳末たすけあい運動

～歳末特別給食サービス事業と 歳末大掃除お手伝い事業～

12月27日（金）、市内4つの障がい者福祉事業所（陽だまり、Cafeぴーち、みちくさ、コミュニティーカフェみーつけた）では、お昼前から、「歳末特別給食サービス事業」の特製弁当作りが始まり、大忙しとなりました。

上の写真は「コミュニティーカフェみーつけた」で、お弁当を盛り付けている様子です。盛り付け作業では、事業所で働く様々な障がいをもつ方も共に作業しており、盛り付けの色合いなど、細かなところにも気を配り、作業されていました。

本事業は、赤い羽根共同募金運動の一環として、12月に実施した、歳末たすけあい運動で集まった募金を活用した事業の一つです。篠山市内在住の給食・配食サービス利用者を対象に、「歳末特別給食サービス事業」もしくは、「歳末大掃除お手伝い

事業」のどちらかを選択し、サービスを受けることができます。

「歳末特別給食サービス」事業では、特製弁当のほか、佃煮の詰め合わせも併せて、121名の方にお届けしました。また、「歳末大掃除お手伝い事業」では、2時間の清掃作業を、シルバー人材センターの協力により、8世帯の大掃除をお手伝いできました。

歳末に皆様からいただいた温かい募金により、様々なたすけあい事業を実施することができました。この場をお借りして、ご支援ご協力いただきました皆様に、心からお礼申し上げます。

今後とも、篠山市共同募金委員会の実施する、赤い羽根共同募金運動について、ご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

第41回 ふれあいクリスマス会

みんなでメリークリスマス！

12月20日(金)、四季の森生涯学習センターにおいて、「第41回ふれあいクリスマス会」が開催されました。

この会は、市内の障がいをもつ方や支援者が一堂に集い、「温かい心のふれあいと障がいをもつ方への理解を深めること」を目的に、毎年開催しています。本年も市内の障害者福祉事業所や養護学校、手をつなぐ育成会などの担当者が構成された実行委員会が企画し、東雲高校の生徒他、多くの支援者に協力していただきました。

当日は約300人の参加があり、開会・閉会のことはをはじめ、司会・女神・諸人役を障がいをもつ方が務めました。女神・諸人・天使が登場し、全員一緒に「メリークリスマス」



障がいの有無に関係なく、みんなで楽しく踊りました

ス」の掛け声とともに、舞台上のイルミネーションが色鮮やかに点灯し、会場全体から大きな拍手がおこりました。セレモニー後は、4人のサンタさんが登場し、袋いっぱい

のプレゼントを参加者に配り、参加者も大喜びで受け取っていました。アトラクションは、プロの大道芸人「スマイルパフォーマーQちゃん」によるジャグリングやバルーンアートのショー。物語仕立てのパフォーマンスで会場は笑顔に包まれました。毎年恒例となった「丹波篠山 楽空間」によるよさこい踊りでは、出演者も参加者もみんな一緒によさこい踊りを全身で楽しみました。

参加者からは、「バルーンアートの作品がもらえて嬉しかった」「舞台上で踊れて楽しかった」「また来年も楽しみにしています」と好評でした。

このクリスマス会を通して、市内の障がいをもつ方やその関係者が交流し、互いに助け合える関係作りができました。

年末年始

短期里親事業

新たに1名の新規里親を迎え、本年度も年末年始短期里親事業を実施し、加古川市の児童養護施設「立正学園」より9名の子どもたちが里子として篠山へやってきました。

12月28日～1月4日の8日間、篠山市内の里親(5家庭)のもとで、あたたかいお正月を過ごしました。



今年もおかえりなさい！

子どもたちの中には、お世話になった里親を見つけると、嬉しそうに駆け寄ってゆく子もいて、離れていく時間を埋めるように熱心に話しかけていました。また、出迎えにきた里親の子どもさんと手をとったりあつて、「今年も来たよ！よろしくね」と笑顔で再会を喜んでいる姿もありました。

～篠山へおかえりなさい～



また来るからね・・・

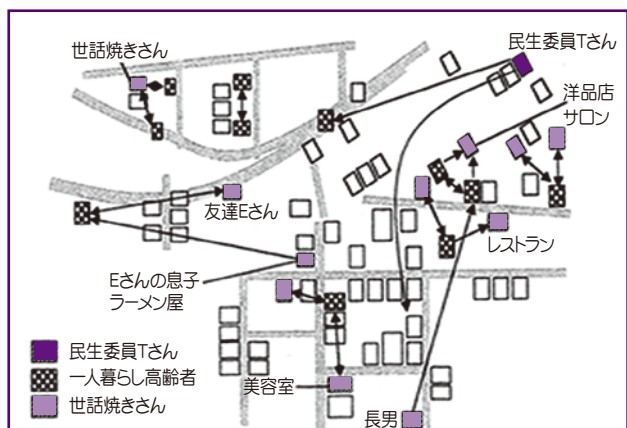
楽しい時間はあっという間に過ぎ、帰園式は、出迎え式とは打って変わって、別れを惜しむ姿が見られました。涙を浮かべ、「笑顔で見送りたいけれど、毎年泣いてしまいうわ」と言われた里親の言葉が印象的でした。里子としては本年で最後となる高校3年生の女の子は、「小学6年生から篠山へ来ていたが、いつも楽しく過ごすことができました。今度はブライベートで、絶対に里親さんに会いにきます。」と話していました。彼らにとって篠山が第二の故郷であり、いつでも「ただいま」「おかえりなさい」と出迎える場所になれるように、これから年末年始短期里親事業を継続していきます。

「助けてー!」が言える、 お互いさまの地域づくりをめざして

地域支え合いネットワーク づくり研修会開催

12月14日(土)、四季の森生涯学習センターにおいて、地域支え合いネットワークづくり研修会が開催されました(主催・篠山市・共催・篠山市社会福祉協議会)。

自治会長をはじめとした地域の方々277名が出席し、住民流福祉総合



『支え合いマップ』の例 (木原氏の資料より抜粋)

研究所の木原孝久氏より「近所パワーで助け合い起こし」をテーマにご講演をいただきました。木原氏は、「助け合いが始まるためには、自分のことをオープンにし、『助けてー!』と言うことが必要です。地域は双方向にできており、助けられる側であると同時に助ける側になることもありま

す。役割を持つことで、その人らしく暮らすことができます。肩書に関係なく助けたいと思っている世話焼きさんを見つけて大事にしましょう。」と話されました。

また、地域での支え合いの様子を、近所同士が話し合いながら地図に書き記していく『支え合いマップ』を通して、見守りや支え合いを考えるこ

とができること、今後の取組の一つとして提案されました。

要介護になっても地域で豊かに暮らす、また自宅でがんばる人を支えるためには、公的サービスの利用と共に、地域のみなさんの関わり(世話焼き)が欠かせません。社協では、『助けてー!』が言える、お互いさまの地域づくりのために、地域のみなさんと一緒に福祉活動を展開していきます。



木原孝久氏

世話焼きさんとは?

- ①困った人がいたら気になる
- ②すぐ関わる
- ③相手から見込まれる
- ④人間大好き
- ⑤人に好き嫌いなし

四者合同研修会から 地区福祉会議への取り組み

本年度、社協では、福祉委員連絡会、自治会長会、民生委員児童委員協議会の協力を得て、身近な地域で連携し、様々な福祉課題の解決に向けた活動に取り組むため、四者(自治会長・民生児童委員・協力委員・福祉委員)の顔が見える関係づくりを目的に、市内19地区ごとの「四者合同研修会」の開催を進めています。

研修会を通して参加者からは、「様々な意見を聞き、地域のことを考える機会になった。今後も話し合う場をつくりたい。」「個人が抱える課題も地域の課題として取り組むことが大切。」「地区の各福祉団体が集まった連絡協議会が必要だと思う。」といった意見があり、研修会後も継続して、自治会やまちづくり地区で、住民同士が話し合う『地区福祉会議』を開催する



四者合同研修会の様子

地区が増えていきます。

地域の福祉課題を解決していくには、まず住民同士が話し合うことが第一歩です。社協では、四者合同研修会の開催と共に、地域で福祉課題解決に向けて話し合う『地区福祉会議』の開催をお手伝いしていますので、地域福祉課題にどのように取り組めばよいか悩んでおられる方、また地域のことを住民みなで考えたいと思っておられる方は、気軽に相談ください。

気づかず虐待しているかも…

高齢者とその家族を守るために

地域には必要な支援を受けることができず人権・生活・健康などが守られていない高齢者などがあります。そのなかで今回は高齢者虐待について篠山市の実態も含めてお伝えします。

高齢者虐待の種類には次のようなものがあります。

- 身体的虐待（体に外傷を加える）
- 精神的虐待（暴言や無視）
- 経済的虐待（財産を不当に扱ったり必要な支援を受けさせない）
- 性的虐待（わいせつ行為をしたりさせたりする）
- 介護や世話の放棄
- 自己放任（住居が不衛生。食事や排泄処理が不十分）

篠山市でも、昨年度は25件、今年度は9月まで16件の相談がありました。その多くはケアマネジャーからの報告です。

虐待は特殊な例ではなく、本人に変化が起きた時や介護者が疲れている時など、様々な要素が重なったときに起こりやすいものです。

そこで、介護者の介護負担を減らし、介護者を守るためにも、法律（高齢者虐待防止法）があります。

しかし、本人が家族をかばったり、家族が自分たちで何とかしようとするなどで、表に現れにくいのが実情です。

通報という言葉にとらわれず、高齢者をとりにくみなさんの「あれ、いつもと様子が違う？」とい

う気づきと、関係機関への相談が、虐待の早期発見や防止のために重要です。

2月2日（日）、市民センターで開催される篠山市権利擁護フォーラムは、職員による啓発劇も交えて権利擁護についてわかりやすく紹介します。ぜひご参加ください。



シロタエギク
花言葉：あなたを支える

権利擁護市民フォーラム

孤立を防ぎ権利を守る！

～支え合える地域づくりを目指して～

今年のテーマは「地域がつながり孤立を防げば、命や権利が守れます」です。

地域のみなさんで誘い合って、参加してみませんか。

とき 平成26年2月2日（日）午後1時30分～4時

ところ 篠山市民センター 多目的ホール

篠山市黒岡191番地1
TEL 079-554-2188

内容

【報告】

「篠山市における高齢者虐待等の現状について」
13時30分～13時45分
報告者：篠山市地域福祉課 松本ゆかり

【啓発劇】

「支え合いで孤立を防ぐ」
13時50分～14時30分
出演：地域包括支援センター
社会福祉協議会、篠山市役所職員

【講演】

「権利擁護で暮らしを支える
～地域をつないだネットワーク～」
14時40分～16時00分
講師：NPO法人PASネット
理事長 上田 晴男氏

フォーラムに関するお問い合わせ

篠山市役所 保健福祉部 地域福祉課 高齢支援係
電話 079-552-1534
FAX 079-554-2332

平成25年度

赤い羽根共同募金運動報告

あたたかいご支援、ご協力を
ありがとうございました！



10月1日から実施しました「赤い羽根共同募金運動」ならびに12月1日からの「歳末たすけあい運動」には、企業や寺、市民の皆様のアたたかいご支援により、多くの募金が寄せられました。また、募金活動には、自治会長、民生委員・児童委員、福祉委員の皆さまをはじめ、各地で活動されているボランティアの方々等、たくさんの方に協力いただきました。皆さまからのご支援ご協力に対し心より感謝とお礼を申し上げます。



サービスエリア街頭募金(西紀)

平成25年度の募金活動では、いくつかの新しい取り組みを実施しました。

一つは、篠山市のマスコットキャラクター「まるいの」と赤い羽根を合わせたデザインを作成し、封筒やバッジのデザインとして活用しました。

また、全国で取り組みつつある、募金百貨店プロジェクト(寄付金付商品募金)を、兵庫県では初めて実施しました。

篠山の町を良くするしくみ



県内第1号として「株式会社夢こんだ」様、県内第2号として「株式会社アクト篠山」様にご協力いただき、商品の購入と同時に募金となり、篠山の福祉向上につながるという、新しい募金の形です。

くりができました。
お寄せいただきました募金は、兵庫県共同募金会を通じ、篠山市の地域福祉および在宅福祉サービスの充実のために配分されます。



平成25年度 赤い羽根共同募金実績額

(平成25年12月末現在)

募 金 内 訳	募 金 額
戸 別 募 金	5,243,168 円
街 頭 募 金	157,510 円
法 人 募 金	1,818,183 円
職 域 募 金	8,836 円
学 校 募 金	141,543 円
バ ッ ジ 募 金	510,694 円
寄付金付商品募金	63,064 円
そ の 他 の 募 金	26,275 円
収 入 計	7,969,273 円

「みんなでささえあうあったかい地域づくり」

歳末たすけあい運動実績報告 (12月末現在)

(収入)

募 金 内 訳	募 金 額
戸 別 募 金	3,060,109 円
街 頭 募 金	12,153 円
法 人・団 体 募 金	211,146 円
職 域 募 金	5,609 円
個 人 募 金	10,000 円
そ の 他 の 募 金	0 円
前 年 度 繰 越 金	224,161 円
収 入 計	3,523,178 円

(支出)

配 分 金 支 出	金 額
配 地 域 歳 末 ふ れ あ い 交 流 事 業	1,115,600 円
分 一 人 暮 ら し 高 齢 者 友 愛 訪 問 事 業	728,500 円
金 歳 末 特 別 給 食 サ ー ビ ス 事 業	275,802 円
歳 末 大 掃 除 お 手 伝 い 事 業	16,200 円
障 が い 者 福 祉 事 業 所 支 援 事 業	310,000 円
短 期 里 親 配 分 事 業	154,000 円
事 務 費	300,000 円
支 出 計	2,900,102 円

歳末たすけあい運動に金品をお寄せいただいた方 (順不同・敬称略)

— 金銭預託 —

- * 松寿会第11クラブ 7,067 円
- * 日本ボーイスカウト連盟篠山第一団... 23,325 円
- * 多紀叡山講 130,000 円
- * 円応教篠山教会 30,000 円
- * 第8寿会 9,144 円

— 物品預託 —

- * 篠山プロバスクラブ タオル1箱他
- * 稲山建男 もち米60 kg
- * 篠山市老人クラブ連合会篠山支部 タオル831枚
- * 多紀叡山講 砂糖13kg、洗剤18kg
- * 連合兵庫丹波地域協議会 .. タオル450枚、石鹸157個

※お寄せいただいた物品は、篠山市内の施設や障がい者福祉事業所に配分しました。



民生委員さんから鉢植えの手渡し

民生委員児童委員さんに依頼し、65歳以上の一人暮らしの高齢者を対象に「シクラメン」の鉢植えを1,457人の対象者に配分しました。

一人暮らし高齢者友愛訪問事業



みたけの里クリスマス会

年末年始に地域で交流活動を実施する団体を市内から募集し、3万円(過去の助成回数が3回の団体には2万円、4回の団体には1万円を上限として)必要経費の一部を助成しました。今年度は、52団体が交流事業を実施されました。

地域歳末ふれあい交流事業

歳末たすけあい運動配分事業

歳末大掃除お手伝い事業

給食・配食サービス事業利用者を対象に、シルバー人材センターに清掃作業を依頼し、8世帯で大掃除を行いました。

歳末特別給食サービス事業

障がい者福祉サービス事業所に、「歳末たすけあい運動特製弁当」の調理と配食を依頼し、12月27日に121食を配食しました。



歳末たすけあい運動特製弁当

障がい者福祉事業所支援事業

市内の障がい者福祉事業所を対象に、運営に寄与する事業や活動に必要な経費の一部を助成しました。

短期里親配分事業

年末年始に実施する短期里親事業において、里子受け入れ家庭に支援協力金と、里子に図書カードを贈りました。本年度は、5名の里親の方にお世話になり、9名の里子を受け入れました。

話しことばを文字で伝える「要約筆記」

「要約筆記」とは聴覚障がい者の方へ、話の内容や会の進行、および講演の内容などを、リアルタイムで文字に通訳する筆記通訳のことです。

話すスピードは、書くスピードの5～6倍の速さで、話しことばを同時にすべて文字にすることはできないため、話しの重要な部分を要約して文字にしています。迅速かつ、正確に、読みやすく書くことが要求されます。

本年度実施した「篠山市要約筆記者養成講座」では、要約筆記の技術および関連知識を学び、修了者2名が要約筆記「うりぼう篠山」のボランティアサークルへ入会されました。



くすの木学級にて活動中の「うりぼう篠山」



要約筆記者養成講座にて模擬研修会実施

「うりぼう篠山」は、市の「成人式」、丹波地域の「くすの木学級」をはじめ、各種講演会などで要約筆記ボランティアを行い、聴覚障がい者の方への支援を行っています。

現在、9名の会員が活動が続けていて、毎月第1・3火曜日に定例会を開いています。

「要約筆記」に興味や関心をお持ちの方は、ぜひサークル見学にお越しください。見学の申し込みは、担当者までお願いします。

ご連絡をお待ちしています。

ファミリーサポートセンター

問い合わせ先 ☎590-1388 担当 林 直美

～自分も他人も大切にする子どもに～



「子ども一時預かり“かんがるー”のようす」

フォローアップ講習会 開催

「子どもの安心基地になるために」

甲南大学文学部教授/臨床心理士 北川 恵さん

1. 乳幼児期に大切なふたつの本能を知ろう！

- ①アタッチメント…不安なときに、くっついて、安心したい本能
- ②探 索…十分な安心感があるときに好奇心を発揮したり、色々なことを自分でやってみたがったりする、環境に働きかける本能

2. 子どもの安心基地になるためには…

- ①子どもの行動をよく観察する
- ②子どもの要求を推察する
- ③子どもの要求に対する自分の気持ちを振り返る



子どもが、のびのび生きていくためには、不安な気持ちを受け止めてくれる「安心基地」が必要です。この「安心基地」に守られて、子どもは自分や他人に対してプラスの感情が持てるようになるそうです。

「安心基地」になることができるのは、保護者の方だけではなく、地域の人、お友達のお父さん、お母さん、幼稚園・保育園の先生…。その基地は、ひとつでも多い方が良いのです。

ファミリーサポートセンターや子ども一時預かり“かんがるー”も、そのひとつ。

ファミサポは、子ども達だけでなく、お父さん、お母さんたちも守れる基地になれるよう、これからも活動していきます。

善意銀行だより

12月1日～31日預託分

(敬称略)

— 金銭預託 —

松本美千代(井ノ上)	善意の預託・・・	3,000円
藤木千皓(小中)	善意の預託・・・	20,000円
井関道夫(曾地奥)	善意の預託・・・	20,000円
堀井良夫(味間南)	善意の預託・・・	10,000円
篠山市仏教会篠山支部	善意の預託・・・	35,186円
ホープ池上 I 団地	善意の預託・・・	100円
丹波地区県職員歳末愛の預託運動	善意の預託・・・	55,800円
W.S.(杉)	善意の預託・・・	10,000円

— 物品預託 —

芦田富基子(今田町芦原新田) 鉢植えの花 4鉢	今田地区ひとり暮らし高齢者
飯田成代(垣屋) 折り紙細工	給食サービス
西澤昭美(栗柄) 折り紙細工	給食サービス
細見かずよ(県守) 折り紙小物、みかん10kg	給食サービス
小林嘉久雄(真南条上) 太ねぎ10kg	給食サービス
株式会社ダイナム兵庫篠山店 おもちゃ等9点	子育てふれあいセンター他
藤原一子(大沢新) 紙おむつ、パッド、カッターシャツ	訪問介護事業所

篠山市の福祉指標

12月末現在

地 区	人口(人)	65歳以上人口(人)	高齢化率	増減	14歳以下人口(人)	年少率	増減
篠 山	12,955人	3,835人	29.6%	→	1,549人	12.0%	↑
城 東	3,482人	1,283人	36.8%	↑	284人	8.2%	→
多 紀	3,410人	1,418人	41.6%	→	288人	8.4%	→
西 紀	4,301人	1,266人	29.4%	↑	549人	12.8%	↑
丹 南	15,921人	4,041人	25.4%	↑	2,106人	13.2%	↓
今 田	3,728人	1,095人	29.4%	↑	398人	10.7%	↑
合 計	43,797人	12,938人	29.5%	→	5,174人	11.8%	→

2月7日、第22回冬季オリンピックが、ロシア・ソチで開催されます▼冬季オリンピックの競技種目は、スキージャンプやソリ(シャレー)の上に仰向けに乗り、ブレイキやハンドルもなく、時速100キロを超えるスピードで、氷のうえを滑降するリュージュのように、私たちが経験したことのない(できない)競技が多くあります▼チャレンジすることはできませんが、想像を超える技術とその迫力に、今から楽しみです。

あとがき



篠山市ファミリーサポートセンター

第4回 交流会(全会員・一般の方対象)

～春の力を感じながら～

「ひな祭り♥ふらうむじく コンサート」

本年度最後の交流会です。
1年間を振り返りながら、楽しく交流しませんか？
ファミサポのこと、子育てのこと、日頃の悩みを気軽にお話ししながら、コンサートを楽しみます。
会員以外の方の参加も大歓迎です。ご家族やお友達と一緒にご参加ください。

～プログラム～

1. 手作りのマラカス作り
2. ファミサポあるあるトーク
3. 協力会員さんと遊ぼう
4. お待ちかね・・・♡コンサート



と き：3月1日(土)午前10時～11時30分

ところ：丹南健康福祉センター 研修室(2F)

出 演：ふらうむじく

(篠山市で活躍中の音楽グループ)

定 員：30組

申込締切：2月21日(金)



平日にファミサポの会員登録ができない方は、毎月第2土曜日(9時～11時半)に、社会福祉協議会において登録することができます。予約制のため、ご希望の方は、ファミサポまでお問い合わせください。

子ども一時預かり “かんがるー”

と き：2月19日(水)・3月18日(火)

※両日とも午前10時～12時(受付9時45分～)

2月4日(火)

※この日のみ午後1時30分～3時30分

(受付1時15分～)

ところ：四季の森生涯学習センター東館 和室(2F)

定 員：10名(生後6ヵ月～就学前のお子さん)

利用料：子ども1人につき 1回500円

申込締切：各実施日の1週間前までにお申し込みください

★ファミサポ会員以外の方も利用できます

★利用には申し込みが必要です

★定員になり次第、締め切らせていただきます

～詳しくはファミサポまで～

申込み・問い合わせ先

篠山市ファミリーサポートセンター
☎590-1388 担当 林 直美



心配ごと相談日

下記のとおり相談日を設けています。
お気軽にご相談ください。

と き	と ころ
2/6(木) 13:30～16:00	西紀支所
2/7(金) 9:00～11:30	丹南健康福祉センター
2/14(金) 9:00～11:30	篠山市民センター
2/21(金) 9:00～11:30	丹南健康福祉センター
2/28(金) 9:00～11:30	篠山市民センター